

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	生涯学習部石狩市民図書館	直通電話	72-2000	事業コード	402030103	課内	5	作成日	平成15年8月14日
		担当者	清水 千晴	担当課長	石沢 修	担当部長	樋口 幸廣		

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	文庫連絡会補助金	開始年度	H4	終了年度	未定
		最近の事業内容見直し年度	H12		
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード 4020301 社会教育の推進 / 団体・グループの育成 3040104 児童福祉の充実 / 児童福祉の充実 / 家庭・地域の子育て機能の向上促進 4040401 青少年の健全育成と女性活動の推進 / 青少年 各種団体やサークルの育成	大項目 / 小項目 / 細項目			
3) 個別計画での位置付け	石狩市図書館基本計画(図書館サービスの展開 子どもの読書を進める) 石狩市生涯学習推進基本構想(市民と市とのパートナーシップによるまちづくりの推進)				

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	読書を通して石狩市の子どもが健やかに育ち、心豊かに成長することを目指す
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	子どもが読書に興味を持ち、楽しめる多彩な機会をつくる
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	以下の活動を通して子どもの読書支援を行なっている文庫連絡会に補助金を交付した。 ・地域文庫の開庫 ・出前おはなし会の開催 ・大人に対する読み聞かせトレーニング講座の開催
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	「子どもの読書活動推進法」制定、学校での「朝の読書活動」の広がり、乳児と親へのブックスタート活動など、育児・教育現場での読書に対する関心は近年高まっていて、子どもが本と接する機会が必要とされている。 類似事業：北広島市では社会教育補助(団体育成)として「文庫の会」に対し補助金を交付。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	事業は市民活動団体が立案・実施
7) 評価中間公表への市民意見	なし

## 3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	100	100	100	100	補助金	100
2) その他の間接経費(千円)						
3) 従事正職員の人件費(千円)	329	332	330			
総事業費(1~3の合計;千円)	429	432	430		H14 主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)	676	681	430			
市民一人当たり一般財源使用額(円)	12	12	8			
事務に従事した正職員のべ人数	0.04人	0.04人	0.04人			

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
文庫の開庫日数(日)	目標値	未設定	未設定	未設定	94 実績値は実際に行なった回数 目標値は前年度実績
	実績値	138	117	94	
	達成率				
読み聞かせ出前開催回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	50 実績値は実際に行なった回数 目標値は前年度実績
	実績値	50	52	50	
	達成率				
トレーニング講座開催回数(回)	目標値	未設定	未設定	未設定	4 実績値は実際に行なった回数 H15年度は記念誌作成事業があるため、図書館で行なう回数のみを目標値とした
	実績値	8	9	7	
	達成率				

## 5 事業の成果

事業名: 文庫連絡会補助金

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
文庫に来た人数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	713	実績値は2文庫に来た人数の合計 目標値は前年度実績とする	各文庫日誌
	実績値	1,136	872	713	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
読み聞かせ出前おはなし会の観客数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	2,000	実績値はおはなし会参加者合計 目標値は前年度実績	文庫連絡会 会誌
	実績値	2,400	2,500	2,000	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
読み聞かせトレーニング講座参加者人数(人)	目標値	未設定	未設定	未設定	48	実績値は講座参加者合計 目標値は講座1回につき12人参加(前年度実績)で設定	文庫連絡会 会誌
	実績値	130	120	133	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	文庫の開庫、読み聞かせ出前、トレーニング講座などを継続的に行い、市内に本の好きな子供を育てている。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	文庫開庫、読み聞かせにより本の好きな子供が育っている。出前は市内各学校等から受けきれない数の要請がある。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	図書館では児童サービスを重点課題としているが、市民の要請には十分受けるだけの体制ができていない。市民参加が必要な分野であり、その活動には交通費、研修費がかかることから、支援を要する。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	出前おはなし会では多くの子供に本の楽しみを伝えることができる。トレーニング講座では読み聞かせのできる大人を増やしている。				

## 7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	A (前年度)
活動内容が教育関連で短時間での評価が難しく、また市内の子ども数が減少している状況において、継続的に成果を上げている。		本事業は、家庭教育が低下している中で、子どもの情操教育の面からも非常に有効であり、効率的に展開されている。		

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	事業の対象である子どもが市内からいなくなることはなく、よって活動の継続が必要である。しかし現在の会員数では全ての要請に応じることが出来ないであり、会員の増加が課題である。
最終評価	子どもが感性を磨き、表現力を豊かにしていく上で読み聞かせなどの活動は大変重要であり、今後とも事業を促進する。

## 9 平成16年度の方向性

事業規模	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
拡大方向			
現状維持		*	
縮小方向			
統合			
廃止			
上についての説明	[課長] 事業の性質から継続的活動が望まれる。平成15年度の記念誌完成により、事業内容の見直しが行われる。 [部長] 本事業は効果的に展開しており、今後も継続する		

**(付表)**  
**補助・負担金等事業内容整理表**

担当部課： 生涯学習部石狩市民図書館

事業名： 文庫連絡会補助金

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	文庫連絡会補助金
支出相手方(名称、代表者、構成員)	石狩市文庫連絡会 代表者 / 駒井秀子 主として市内在住者で構成 構成員20名
活動(事業)目的	会員相互の交流、親睦、研修、情報の交換を通して、地域における文庫活動を、応援することを目的とする。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

		H12決算		H13決算		H14決算		H15予算	
		全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象
歳出決算 (予算)状況	総務費	30	29	21	21	19	13	18	18
	事業費	108	66	80	74	86	52	68	62
	予備費	26	5	32	5	38	35	24	20
	次年度繰越金	1		0		2			
	歳出合計	165	100	133	100	145	100	110	100
歳入決算 (予算)状況	文庫連絡会補助金	100	60.6%	100	75.2%	100	69.0%	100	90.9%
	会費	9	市の補助負担金への依存度	4	市の補助負担金への依存度	4	市の補助負担金への依存度	4	市の補助負担金への依存度
	雑収入	55		28		37			
	講座参加費	0		0		4			
	繰越金	1		1		0			
歳入合計	165		133		145		110		
補助・負担対象経費の内容	総務費(文具費、通信費、子どもの本連絡会費) 事業費(図書購入費、文庫運営費、学習会費、会議費、発送費、舞台運搬及び交通費、講座資料費、制作費、共済費) 予備費(記念誌作成積立金)								
補助・負担金額の算定方法	定額補助								

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
文庫開庫日数(日) (再掲)	138	117	94	未設定
読み聞かせ出前開催回数(回) (再掲)	50	52	50	未設定
トレーニング講座開催回数(回) (再掲)	8	9	7	4
平成14年度活動(事業)実績	地域文庫の開庫 出前おはなし会、トレーニング講座の開催 会報の発行 子どもの読書環境整備に必要な情報、知識等を得るための研修受講等			

4 特記事項

近年子どもの情緒不安定に対する読書の有効性・必要性が目されている。子どもが安心して成長できる環境を地域の大人が整備し、地域ぐるみで子どもを育成することを市の教育プランでは重視している。子どもと読書について真剣に考えている意欲のある人材が学習、活動できる環境を市は提供し、市民とのパートナーシップをとりながら子どもの読書環境を充実させる必要がある。
---